

暮らしの中のゴミ



ゴミ出しはルールを守って

美しい景観を保つ前橋市。その町に暮らすわたしたちの市民生活は、たくさん物によって成り立っています。昔の生活と比べると、便利で快適な都市生活は、いろいろな物の恩恵の上で支えられています。物もいずればゴミに。わたしたちの出したゴミが、子どもたちの未来である地球環境にも影響を与えます。そこで、前橋市のゴミの現状を一緒に考えるために、今回、わたしたち市民編集委員は、市清掃業務課と清掃施設課にゴミの現状取材しました。



ピットに投入されるゴミ

ゴミは、朝八時までに集積所へ出すことになっています。収集車が到着する時間は必ずしも一定していません。一年間同じルートで回ることではなく、新たに集積所ができれば、時間が変わることもあります。ゴミの量が少なければ、それだけ早く回れることとなります。

また間違っただけ指定日時以外に出されたゴミや明らかに事業所から出されたゴミは、「ルール違反です」と書かれたステッカーが張られ、注意を促しています。

資源ゴミの日に瓶、缶は回収

ゴミは朝8時まで

されたのに、ペットボトルが残っている場合がありますが、それぞれ運搬先が違つので、時間差があるということです。

80%は可燃ゴミ

可燃ゴミは、生ゴミ、紙くず、紙おむつ、衣類、小枝、枝切れなどをいいます。なお、新聞紙、雑誌、段ボール、枝木、板きりはひもで縛れば、そのまま出せます。

各家庭から収集されたゴミのうち、可燃ゴミは約八〇%を占め、そのほとんどは六供清掃工場で焼却されています。現在の施設はダイオキシン類削減対策工事（費用三十八億円）も完了しており、ゴミを焼却する過程で発生する有害物質を安全に処理するための対策がとられています。

六供清掃工場は、焼却施設ですが、ほとんどが公害対策の設備とのこと。巨大なピットに運び込まれたゴミが二十四時間管理され、処理される過程を見学し、圧倒されました。

可燃ゴミにアルミなどが混入されていると、九〇〇度の熱で溶けて、焼却炉に空気を送る部分に目詰まりを起こしてしまい、それを取り除く作業が大変のようです。ゴミを分別することの大切さを再認識しました。